

国語総合 問題用紙

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

コミュニケーションという言葉には、いつも「伝える」というニュアンスがつきまとう。明確な意味を担うメッセージを正確に、コウリツよく相手に伝える。私たちがコミュニケーションに求めてきたことだ。(A)、これも観察者からの一方的な見方なのかもしれない。

何気ない歩行やハンドルの動き(注)に限らず、日々の対面的な相互行為においても賭けを伴う。自分の発話の意味や役割でさえ、自分の中では完結できない。相手の何らかの反応や返事を予定しつつ、繰り出してみる。こちらに向かってくる相手に「おはよう」という言葉を繰り出す。その相手が気づかず通り過ぎていってしまっては、その「おはよう」の意味は宙に浮いてしまう。自分が話し手であるのは、その相手が聞き手になってくれているという単純な事実に支えられる。

私たちは大地の上を歩くと同時に、大地が私たちを歩かせる。これと同様に、他者は私たちの発話が向かう対象であるとともに、私たちの発話を制約し方向づける。大地とのカシプリング(注)との大きな違いは、他者からの支えを予定した発話が他者の応答責任を引き出し、それによって支えられるという拮抗した関係性だろう。

知り合いからの挨拶に、思わず「おはよう」との言葉を返してしまった。そこで無意識に応答責任を感じるのは、その言葉が誰かの支えを予定しつつ繰り出されたものであることを、自分の身体を介して知っているからだろう。このとき、私たちの身体との同調を引き出しているのは、「²実体としての同型性」ではなく、むしろ「³関係としての同型性」に基づくものと考えられる。(B)、カンキョウや他者と切り結ぼうとする不定さ(注)を備えた身体が同型の不定さを備えた他者の身体からの共同性を引き出している。こうしたダイナミクス(注)がコミュニケーションにおける「場」を生み出している。

では自動販売機からの「ありがとう」のメッセージやロボットからの「アインテル！」は、なぜ私たちの心を揺り動かさないのか。それは「私たちを本当に必要とし、私たちに向けられた発話ではない」からなのではないか。自動販売機やロボットからの発話はあらかじめ「作りこまれたもの」であり、「系の中に閉じて」いる、自己完結している」という見方もできる。その発話は私たちを必要とするものでも、私たちの存在を予定したものでもない。ちょうどビットロボットの作り込まれた歩行動作に似ている。その歩行動作は勝手に動くだけで、(X)を必要とするものではない。

コミュニケーションをメッセージなどの「モノ」の伝達ではなく、関係性や場における「コト」、つまり他者との切り結びから生じるものとして捉えたとき、コミュニケーションとはどのようなジタイを指すことになるのだろう。

その一つは、⁴動歩行のアナロジーから考察できる。大地に一步を踏み出すとき、その大地を知覚できると同時に、自分自身の何気ない一步の意味や価値を自覚できる。それは不定さを伴う歩行系の内部ダイナミクスと大地とのカシプリングにおいて、一つのバランスポイントを見出す(=不定さを解消する)ことだろう。その意味では、知覚とは「対象と一つのシステムを作る」ということができる。

他者との関わりはどうだろうか。(C)、廊下に出て歩いていると、遠くから人が近づいて、去っていく。この相手の動きの中に、自分自身が見えることがある。そんな時に、相手が自分を避けていくならば、自分はいくぶん大きな存在として自覚すべきだろう。自分らしさ、アイデンティティなども自分の中に閉じていては知りえない、むしろ他者との関わりの中に、自分のアイデンティティを特定する情報を探っている。言葉を相手に向けて繰り出すときも同様だろう。相手の応答を得て、その言葉の意味や価値は支えられる。その切り結びの中で、相手を特定するとともに、その中に自分を特定する情報を見出している。これが切り結びの中で生じているコミュニケーションと考えられる。

(岡田美智男「コミュニケーションに埋め込まれた身体性」『月刊言語』所収)

注 何気ない歩行やハンドルの動き……本文よりも前の部分の内容(=歩行や車の運転は実際に行つてみてはじ

めて行為の意味がわかる)を受けたものである。カツプリング……一つのものの間に相互作用をもたせて結びつけること。不定さ……自分の行為に対しても必ずしも最後まで自分で責任をもてないという制約。ダイナミクス……力学。

問一 二重傍線部 a～c のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 空欄 A～D に入る適切な語句を次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア もし イ そして ウ あるいは エ しかし オ つまり カ たとえば

問三 傍線部 1 「自分の発話の意味や役割でさえ、自分の中では完結できない」とあるが、それはなぜか。その理由を本文の内容に即して説明しなさい。

問四 傍線部 2 「実体」、傍線部 3 「関係」とほぼ同じ意味で用いられている二字の語句をそれぞれ一つずつ本文中から抜き出しなさい。

問五 空欄 X には漢字二字の語句が入る。適切な語句を本文中から抜き出しなさい。

問六 傍線部 4 「(コミュニケーションは)動歩行のアナロジーから考察できる」とあるが、動歩行のアナロジーを参考にし、コミュニケーションとはどのようなものなのか六十字以内(句読点を含む)で説明しなさい。

問七 問題文は内容の面から大きく前半と後半の二つに分けることができる。二つに分けた上で、後半の最初の五字を抜き出しなさい。

問八 次のア～エを読み、本文で述べられている主張の説明として適切である場合には「○」を、適切でない場合には「×」を解答欄に記しなさい。

ア コミュニケーションとは話し手から聞き手にメッセージを伝達することを目的とする行為であるため、聞き手の存在が極めて重要である。

イ 聞き手に対して明確なメッセージを伝達するには、単なる言葉のやりとりだけでなく、お互いの身体を用いたコミュニケーションが不可欠である。

ウ 我々が自分自身を理解しようとするとき、自分よりもむしろ他の者の言動を観察し、そこから自分自身に関する情報を得ているのが実情である。

エ コミュニケーションを行ふ者の立場から改めて考査することによって、人間の発話とロボットの発話の違いを明らかにできるかもしれない。

【二】次の①～⑤の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 総理大臣の施政表明演説。 ② 伝統行事が廃れる。 ③ 今晚の献立を考える。
- ④ 証明書を呈示する。 ⑤ 國際会議を催す。

【三】次の文章を読んで、後の間に答えなさい。

多くの人は、科学は正しい事実だけを積み上げてできていると思うかもしれないが、それは真実ではない。実際の科学は、事実の足りないところを「科学的仮説」で補いながら作り上げた構造物である。科学が未熟なために、本来必要となるべき「鉄骨」が欠けているかもしれないのだ。新しい発見による革命的な一撃が来たら、いつ倒壊してもおかしくない位である。

だから、「科学が何であるか」を知るには、逆に「何が科学でないか」を理解することも大切だ。科学は確かに合理的だから、理屈に合わない迷信は科学ではない。それでは、占いや心霊現象についてはどうだろうか。

占いは、当たらないことがあるから非科学的なのではない。天気予報は、いつも正確に予測できるとは限らないが、科学的な方法に基づいている。また、お化けや空飛ぶ円盤の存在は、科学的に証明されてはいないわけだが、逆に「お化けが存在しない」ということを証明するのも難しい。なぜなら、いつどこに現れるかも分からぬお化けを「テツティ的に探す」とはできないわけで、結局見つかなかつたとしても、「お化けが存在しない」と結論するわけにはいかない。ひょっとして今この瞬間に自分の目の前にお化けが現れるかもしれないからだ。

哲学者のK・R・ポパーは、科学と非科学を分けるために、次のような方法を提案した。² 反証（間違っていることを証明すること）が可能な理論は科学的だと考える。検証ができるかどうかは問わない。

そもそも、ある理論を裏づける事実があつたとしても、たまたまそのような都合の良い事例があつただけかもしれない。しかし、その理論を「証明」したことにはならない。しかも、ある法則が成り立つ条件を調べるといつても、すべての条件をテストすることは難しい。むしろ、科学の進歩によって間違つていると修正を受けうるものの方が、はるかに「科学的」であると言える。

一方、非科学的な説は、検証も反証もできないので、それを受け入れるために、無条件に信じるしかない。科学と非科学の境を決めるこの基準は、「反証可能性」と呼ばれている。³ 反証できるかどうかが科学的な根拠となるというのには、逆説めいて面白い。

たとえば、「すべてのカラスは黒い」という説は、一羽でも白いカラスを見つければ反証されるので、科学的である。しかし、「お化けが存在すること」は検証も反証もできないので、その存在を信じることは非科学的である。逆に、「お化けなど存在しない」と主張することとは、どこかでお化けが見つかれば反証されるので、より科学的だということになる。一方、「分子など存在しない」という説は、一つの分子を計測^{レゾウチ}でとらえることすでに反証されており、分子が存在することは科学的な事実である。

（酒井邦嘉『科学者という仕事』）

問一 二重傍線部a、bのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部1「鉄骨」とあるが、ここでは何を「鉄骨」にたとえているのか。本文中から一字で抜き出しなさい。

問三 傍線部2「反証（間違つていて）」を証明することが可能な理論は科学的」とあるが、このように考える理由を述べている一文を本文中から探し、初めの五字を抜き出しなさい（カギ括弧、句読点も字数に含める）。

問四 傍線部3「反証できるかどうかが科学的な根拠となる」というのは、逆説めいてい」とあるが、なぜ「逆説めいてい」るのか。本文中の語句を用いて簡潔に説明しなさい。

問五 次のア～オのうち、本文の内容と合致するものには○、合致しないものには×をそれぞれ記しなさい。

ア 占いは当たらないことがあるため、非科学的である。

イ 「お化けは存在しない」という説は証明するのが難しいため、非科学的である。

ウ 「すべてのカラスは黒い」という説は反証が可能であるため、科学的である。

エ 「お化けは存在する」という説は反証が不可能であるため、非科学的である。

オ 「分子は存在しない」という説は明らかに事実と反するため、非科学的である。

令和5年度 英語

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

1. 次の英文を読み、設間に答えなさい。(配点 50 点)

Recycling is the most widespread form of waste reuse. There are many benefits to recycling cans, bottles, newspapers, and other daily goods. Recycling saves governments money by reducing spending on landfills, and it helps companies and individuals lower garbage-disposal costs. Using recycled materials to make goods is also much cheaper (1) using raw materials. For instance, making a can from recycled cans uses 1/20 the energy required to make a can from scratch. Cost savings like that lead (2) higher company profits.

Another type of waste, organic material, has a clear (A) value. Scientists have developed ways to turn vegetables, grains and even used coffee beans into biofuel, and companies are ^(a)taking notice. British supermarket giant Sainsbury's has the (B) goal of turning all of its food waste into biofuel. It's a win-win situation for the company and the environment.

Through (C) methods, other waste materials are being turned into completely new products. An interesting example is EaKo, a UK-based company which makes beautiful bags and wallets from used fire hoses. On the other side of the world, a local government effort in the Philippines aims to ^(b)eliminate waste altogether. Part of the effort involves turning old plastic bags and other materials into construction blocks. In both cases, garbage is seen not as a problem, but as a business ^(c)opportunity.

Waste reuse, (3) addition to its financial value, has many environmental benefits. It reduces garbage-disposal costs and landfill use while fighting global warming by lowering the amount of CO₂ in the air. Yet businesses, (4) primary responsibility is to investors and shareholders, tend to focus (5) cost benefits. So when waste-reuse policies can be shown to save or make money, it's much easier to convince firms to act in ways which are both eco-friendly and business-friendly.

landfill ゴミ処理埋立地 from scratch ゼロから biofuel バイオ燃料

問 1. 本文中の空白 (1) ~ (5) に入る最も適切な単語を下記の中から選び、その記号を書きなさい。

- A. who B. whose C. how D. in E. than F. on
G. at H. from I. to

問 2. 下線部 (a) ~ (c) と同義の語句を選び、その数字を書きなさい。

- (a) 1. paying attention 2. running out 3. classifying 4. filling up
(b) 1. increase 2. maintain 3. sell 4. get rid of
(c) 1. effort 2. chance 3. failure 4. discipline

問 3. 本文中の空白 (A) には economy の形容詞形、空白 (B) には ambition の形容詞形、空白 (C) には creation の形容詞形が入る。それぞれの語を英語で書きなさい。

問 4. 本文中から以下の意味の語句を探し、英語で書きなさい。

- (1) 「有機物の」 (1語)
(2) 「地球温暖化」 (2語)

問 5. 次の文について、本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を付けなさい。

- ア. リサイクルで缶を作るのにかかるエネルギーは、ゼロから缶を作る場合と比べ、十分の一である。
イ. EaKo という、イギリスに拠点を置く会社は、中古消防ホースから美しいバッグや財布を作っている。
ウ. 環境に優しく企業にとっても都合がよい状況を作るのは不可能である。

2. 次の A ~ E の各語の中に、下線部の発音と異なる語がそれぞれ 1 つある。その語の数字を書きなさい。(配点 10 点)

- A. 1. breath 2. receive 3. secret 4. people
B. 1. sour 2. flour 3. power 4. pour
C. 1. ache 2. church 3 4 chill 4. arch
D. 1. soften 2. Christmas 3. subtle 4. castle
E. 1. bear 2. clear 3. share 4. wear

3. 次の A ~ E の各組の中に、最も強く発音する音節の位置が他と異なる語がそれぞれ 1 つある。その語の数字を書きなさい。(配点 10 点)

- A. 1. de-vel-op-ment 2. va-ca-tion 3. en-ter-prise 4. in-ter-pre-t
B. 1. com-bi-na-tion 2. com-mu-ni-ca-tion 3. il-lus-tra-tion 4. ap-pli-ca-tion
C. 1. e-con-o-my 2. man-ag-er 3. nec-es-sar-y 4. in-tel-lect
D. 1. pre-cise 2. dif-fer 3. con-clude 4. ca-reer
E. 1. ad-van-tage 2. ge-om-e-try 3. con-ven-i-ent 4. con-se-quence

4. 次の各文の（ ）に入る最も適切な語句を1～4から選び、その数字を書きなさい。（配点 15点）

A. As a journalist, I'm used () to countries at war.

- 1. to travel
- 2. travel
- 3. to traveling
- 4. traveling

B. I realize you're () our plan, but I still feel it's the best strategy right now.

- 1. against
- 2. at
- 3. with
- 4. of

C. Your sad face makes me () very unhappy.

- 1. feeling
- 2. to feel
- 3. felt
- 4. feel

D. I didn't believe Bill did it () accident.

- 1. in
- 2. by
- 3. with
- 4. on

E. We might as () go home now. It's almost dinner time.

- 1. well
- 2. soon
- 3. often
- 4. ever

5. 次のAとBの会話で、文中の空所(1)～(5)に入る最も適切な文を下段の英文から選び(1回のみ)、その記号を書きなさい。(配点 15点)

A: (1)

B: Very good. (2)

A: That's good.

B: I have a test today, don't I? What test is it?

A: (3)

B: Oh, right, that's it. (4)

A: Nothing in particular. I'll take you to the X-ray room on the first floor in a wheelchair. (5)

B: Good idea. It might be cold outside this room.

-
- a. It's a head X-ray.
 - b. You may need to put on some socks and a cardigan.
 - c. My head felt heavy this morning but I'm okay now.
 - d. Do I need any preparation?
 - e. How are you feeling today, Mr. Gibbs.